

5年 組 名前

学習のめあて アマモの一生を知ろう。

時	学 習 内 容	形 態
5	理科係から 学習ノートなどの配付。クラスのみんなでめあてを読む。☺ 先生の話集中して聞く。👂	
15	先生から 海洋学習の見通しを知る。 ①海洋学習って何だろ？ ①アマモ 2回 アマモの一生 4つのはたらき アマモ場の現状 ②わかめ 2回 わかめの一生 栄養、自給率、はたらき、収穫の様子 「生産者インタビュー」2：30、「鳴門産わかめ収穫の様子」2：00 ③アマモを増やす取り組み 2回 「きれいな海を取り戻す」3：29 ④環境問題 海洋ごみ 2回 「ポイ捨てごみはどこへ行く？」4：28 ⑤課題解決学習（調べ学習）5回 1人1枚提出	一 斉
20	【課題1】アマモの正式名称を書こう。日本一な～が～い名前。 【課題2】アマモの一生を知る。資料1 【課題3】🗉「アマモ」1：56 🖋	一 斉
5	振り返り&自己評価	個 人

## 海洋学習 海とともに生きる

私たち日本人は、大昔から、海から大きな恵をもらって生きてきました。日本人のみならず、人類は、大地とともに海によって生かされてきたといえます。人と海とのつながりを考えるために必要なことは、具体的な体験をして、理科や社会などの各教科を通じて自然科学的な見方を身につけ、さらに海に関する文学に親しむことです。

海洋教育の目的は、命の源である海について、自ら考え実践し学びを深めることで、<海とともに生きる>という私たちの本来的な生き方に気づき、<よりよく生きる>ことを伝えていくことです。

【課題1】 アマモの正式名称を書いてみよう！ 覚えているかな😊


【課題2】アマモの一生 資料1を読んで、下線に当てはまる言葉や数を書きましょう。

アマモは、オモダカ目アマモ科の海草。地下茎で増える多年サイクルと\_\_\_\_\_で増える1年サイクルの2種類がある。

地下茎で増えるアマモは、秋に地下茎から芽が出て、\_\_\_\_\_にかけて茎や葉が成長し、葉の長さは\_\_\_\_\_mほどになる。夏になると、数mmの\_\_\_\_\_が咲いて\_\_\_\_\_をつけるものがある。その後、水中に出ている葉の一部が枯れる。

#### アマモ場の機能

アマモ場は、葉に小さな生物がついたり、魚の\_\_\_\_\_が産み付けられたり葉の間に\_\_\_\_\_が育ったり☆\_\_\_\_\_になっている。

【課題3】  「アマモの一生」

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

【振り返り】

---

---

---

【自己評価】 A a B b C 【先生からの評価】 A a B b C